

浜嶋です。
こんばんは。

打ち上げの宴会について、誰もが経験していると思います。

ネットの説明は、

「複数人で何かを 成し遂げた後にやる宴会を『打ち上げ』と呼ぶ」

これが、よく知っている意味だね。

「打ち上げは、花火と何か関係があるのだろうか。 これは長唄で使われる用語。

太鼓を中心として曲の調子を強くする、高めることで曲中に区切りをつける技法を打ち上げといった。

また太鼓を打ち終えることも打ち上げと言ったことから、歌舞伎など興行の終わりを意味する言葉に、

そして締めくくりの宴会へと結びついたのである」という説明もあった。

私が知りたいのは、何かを成し遂げた宴会は、どうあるべきか。 なんのために打ち上げをするのか。

打ち上げをしたらどんな効果があるだろうかということだ。

BVS 隊の舎営の後で打ち上げをしなかった。 一生懸命やった。それで終わっている。

そこで、なんか満たされない気持ちが続いていた。 下村隊長の気持ちの中は、今どうだろうか。

それが発端となり、この2週間で考えた結論は、次のようなことだ。

打ち上げとは、成し遂げたことを仲間同士や関係者と互いに誉め称える場だ。 完全燃焼をしたことを労い、評価する場だ。

お酒や食事もあるが、目的は、実施した期間の様々な工夫とそこから生まれた成果を喜び合うことだ。 それで、実現できた実績の満足感

に精神的な満足感を加えることができる。 そうすることによって、次のイベントに勇気が湧いて、新しい気持ちでスタートできる。

打ち上げで、区切りをつけて、新しい気持ちになれる効果がある。

だから、打ち上げをやる方が気持ちがいいし、継続して頑張る力が湧いてくる。 やった方がいいと思う。

こういう効果を上げると打ち上げに意味があるが、そうならない場合もある。

今回も含めて気を付けないといけないと自省している。

- ・打ち上げで、成し遂げたことの反省や評価をしない場合は、単なる飲み会になり、打ち上げにはならないし、効果もなくなる。
- ・すべての参加者を称え合わないと精神的な効果は薄れる。
- ・これをうまく実施してあげるのは、責任者のリーダーシップだと思う。
- ・このことを全員が理解していれば、自ずと打ち上げの雰囲気ができあがり、楽しい打ち上げにすることができる。
- ・打ち上げをしないと一皮むけないかもね。

皆さんは、どのように考えていますか。昔から続けられていることには、よい効果があるし、それなりの理由があるはずだ。

考えたことが無ければ参考にしてください。

夏の活動については、ぜひ有意義な打ち上げをしてほしいと思っている。